

『LPGガス物流部門の勤務体系改善によるコスト低減、並行しての社員の意識及び需要家の評価に関する調査』結果概要

1. 実施者

株式会社 三愛ガスサプライ関東

2. 調査概要

(1) 目的

LPGガスの需要量に対応した変則勤務体系を導入することにより、配送コスト低減の可能性を明らかにする。

LPGガスシリンダー配送企業から関連総合サービス企業への転進の可能性を明らかにする。
物流専門職から、多機能職への転換によるライフプランを構築するための基礎データとする。
末端のお客様からの評価とニーズを調査し、サービス体制構築の基礎資料とする。

(2) 実施方法

LPGガスシリンダー配送コスト低減可能性調査

現状の業務データをベースに、過去2年間の実績データの解析を行い、変則勤務導入によるシミュレーションを行った。

社員アンケート調査

全社員を対象に、アンケート票による構造改革に関する意識調査を実施した。サンプル数 107件

お客様アンケート調査

無作為抽出により、3,000件のお客様への調査を郵送により実施した。 サンプル数 806件

3. 調査結果概要

配送コストに関しては、過去の配送実績を解析し、年間を通した変則勤務体系導入によって得られる人件費及び車両費等の経費減効果をシミュレーションした。結果、10%超の効果が得られるとの数値が出された。この結果を実際に活かすには、社員の協力が不可欠となるが、アンケートから変則勤務体制については多数の社員が理解を示していることが解った。

また、同時並行的に行った末端のお客様へのアンケートでは、LPGガスの配送部門を含めた総体的イメージや望まれるサービス等についての調査を行った。

4. 調査結果から得られた効果

配送部門において、季節間格差を弾力的な変則勤務体系を導入することにより、コスト低減への有効策となることが数値により明確化され、今後の指標となるものを得た。

又、お客様アンケートからは容器配送担当サービスへの評価は全般的に高いこと、安全・安心に対する啓蒙及び省エネルギー機器の情報提供などが今後も一層重要であることが判明した。

5. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取り組み

コスト低減への目標となる数値が示され、社員の理解度からも変則勤務体系への取り組みを進めることが可能となった。今後の展開においては、具体的にこの勤務体系を導入し、余剰戦力を総合サービス業務へ向ける仕組みを社員と共に作る作業へ進めて行く。また、社員の中には業界の将来への不安を覚える者もあり、十分な教育やライフプラン作りも同時に作る作業も必要である。

さらに、お客様アンケートからも「安全・安心への啓蒙」と「顔の見えるサービス方法」を望む声が多数あり、販売・物流が一体となり今後構築する体制へとしたい。

6. 補助金確定額

9,434,722円

以上